

# 令和3年度 国民健康保険 事業特別会計決算

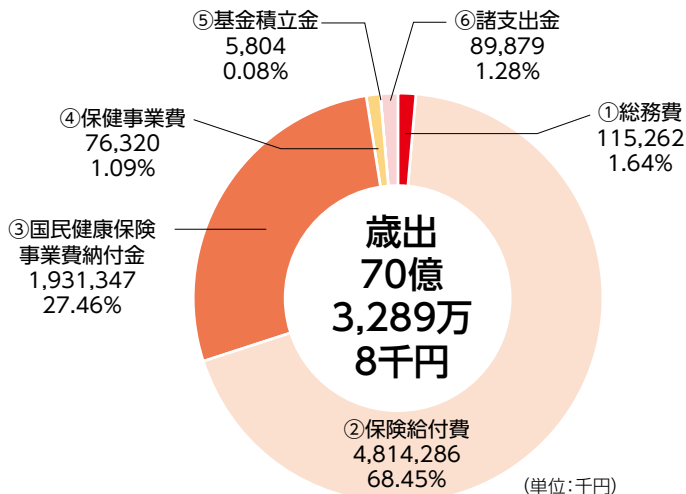
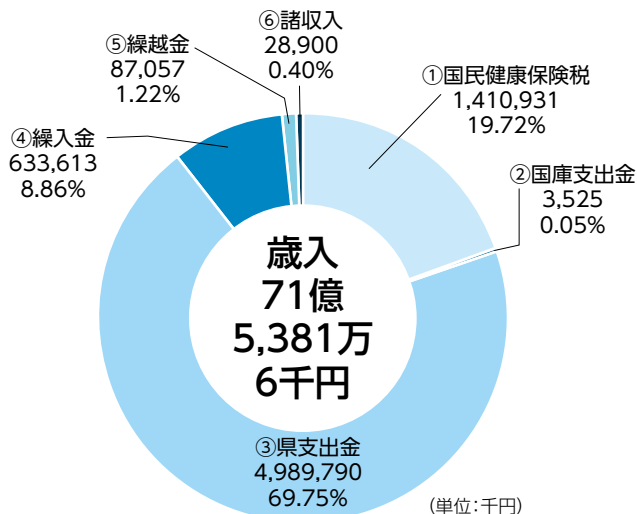
問い合わせ 国保年金課 国保年金係(☎内線312)

病気やケガをしたときに誰もが安心して医療を受けられる「国民皆保険」。国民健康保険(以下、国保)はこの仕組みを支える公的医療保険の一つです。

国保では、市の一般会計とは別に独立した「国民健康保険事業特別会計」を設けて運営しています。加入者の皆さんからの国民健康保険税を医療費支払いに充てるなど、相互扶助で成り立つ制度です。

本市の現状と国保事業の運営状況を把握してもらうために、決算状況、加入している被保険者数や年齢構成、医療費などをお知らせします。

歳入約71億5,381万6千円、歳出約70億3,289万8千円で、約1億2,091万8千円の黒字となりました。



①国民健康保険税	国保加入者が納めた保険税
②国庫支出金	国からの補助金
③県支出金	国交付金含む県からの補助金
④繰入金	一般会計からの繰入金
⑤繰越金	前年度から繰越した剰余金
⑥諸収入	延滞金やその他雑入

①総務費	人件費や事務費など、国保事業運営にかかる経費
②保険給付費	国保加入者の医療費などの支払
③国民健康保険事業費納付金	福岡県全体でかかる保険給付費などを県内市町村で按分し県に支払うもの
④保健事業費	特定健診や医療費適正化にかかる経費
⑤基金積立金	年度間の財源の不均衡を調整するための資金の積み立て
⑥諸支出金	償還金や還付加算金など

## 歳入の概要

歳入の主なものには、県からの補助金である県支出金計約50億円(歳入の約70%)や国民健康保険税約14億円(歳入の約20%)があります。

## 歳出の概要

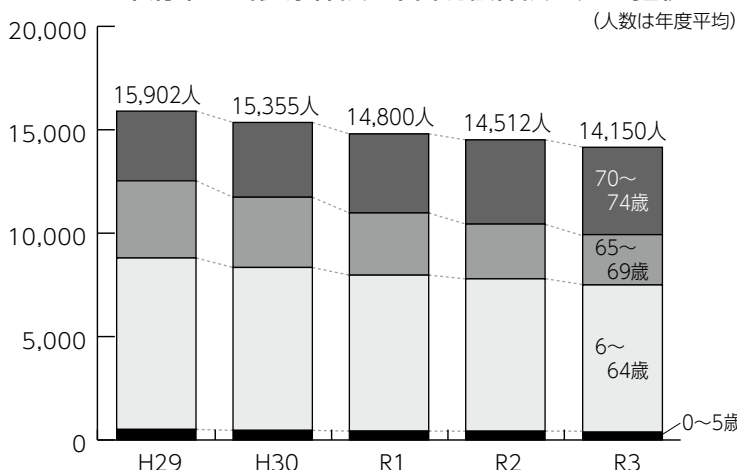
歳出では、国保加入者の医療費などの支払いにあたる保険給付費約48億円(歳出の約68%)、県の国保運営の財源として納付する国民健康保険事業費納付金約19億円(歳出の約27%)があります。

## 被保険者数は若年者が減少、70歳以上は増加

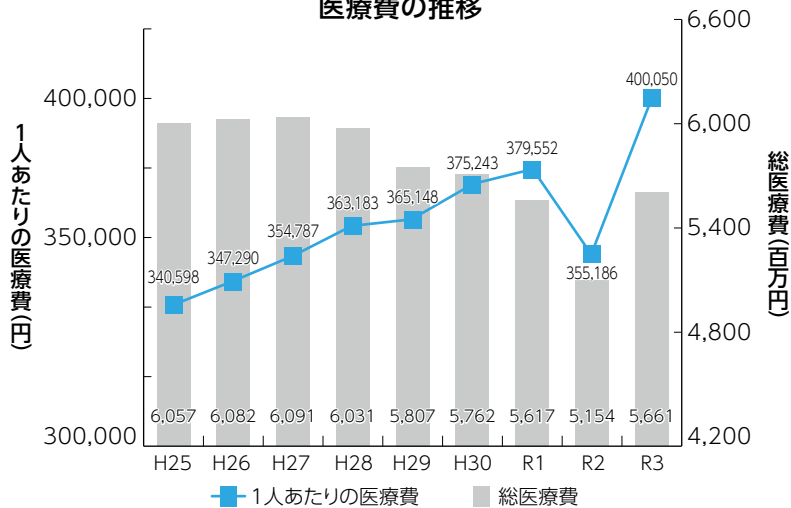
被用者保険\*の適用範囲の拡大や後期高齢者医療保険への移行により全体で減少傾向です。70歳以上の被保険者は増加し、それ以外の全年代で減少しています。令和3年度の被保険者数は平均で14,150人、前年度より362人減少しました。本市の人口に占める国保の加入割合は19.76%、約5人に1人が国保加入者です。

\*被用者保険…雇用されている人が加入する保険

## 太宰府市国民健康保険 年代別被保険者数の推移



### 医療費の推移



### 1人あたりの医療費は増加

総医療費は被保険者数の減少で、平成27年度をピークに減少傾向に転じました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった令和元年度と比較して微増しました。

1人あたりの医療費は、被保険者の高齢化や医療の高度化で増加傾向でしたが、コロナ禍の受診控えなどにより令和2年度に大きく減少しました。その後、令和3年度は感染症拡大前より増加しました。

医療費の増加は、将来的な保険税の上昇や自己負担割合の拡大につながり、被保険者の皆さんの負担を増やす恐れがあります。一人一人が健康に関心を持ち、医療費節約のためにできることから取り組んでいきましょう。



### 医療費の適正化に向けて



#### ●ジェネリック医薬品(後発医薬品)を選びましょう

低価格で安全性や効き目は新薬と同様と認められているジェネリック医薬品の使用を推進しています。医師や薬剤師と相談しながら、薬代の負担を軽くしましょう。



#### ●重複受診、頻回受診を控えましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診することや毎月医療機関に必要以上に受診することは、医療費の負担が増えるだけでなく、体に悪影響を与える場合があります。



#### ●かかりつけ医をもちましょう

身近なかかりつけの医師を見つけ、医師の指示を守りましょう。自己判断で治療を中断せず、しっかり治しましょう。



#### ●お薬手帳を使いましょう

いつ、どこで、どんな薬を処方してもらったか記録する手帳です。複数の医療機関の受診や転居をしても、情報共有でき、薬の重複や良くない飲み合わせ、同じ薬による副作用の再発などを防止できます。

### 年に一度の特定健診で、健康状態のチェックをしましょう！

市では、40歳～74歳の国保加入者を対象に、特定健診を実施しています。

#### ●特定健診とは

糖尿病や脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とした健診です。

#### ●特定健診を受けると

- ①健診結果に合わせた特定保健指導が受けられる
- ②特定保健指導で生活習慣改善ポイントが分かる
- ③毎年の受診で、継続した健康管理ができる
- ④生活習慣病の発症や重症化を予防することができ、医療費も抑制できる

#### ●特定保健指導とは

生活習慣病の発症リスクが高いと判定された人へ保健師や管理栄養士が生活習慣改善を促す支援をします。日常生活の状態を聞きながら、その人に合った方法で、運動や食生活の改善を一緒に考えます。

#### ●歯科検診も活用しましょう

40、50、60、70歳の市民を対象に歯科検診を実施しています。(P22市からのお知らせに掲載) 歯周病は糖尿病や生活習慣病に大きく関係します。歯科検診を活用して発症や重症化を予防しましょう。